

会 議 録 (1)

会 議 の 名 称	第1回入間市新庁舎等整備事業民間事業者選定委員会
開 催 日 時	令和4年6月4日(土) 午後0時30分 開会・午後2時40分 閉会
開 催 場 所	市庁舎C棟5階 503会議室
議 長 氏 名	市長 杉島理一郎(議長選任まで) 作山康
出席委員(者)氏名	香取慶一、作山康、難波悠、柳澤要、濱川敦
欠席委員(者)氏名	中島裕輔
説明者の職氏名	公共施設マネジメント推進課主査 磯田純文 公共施設マネジメント推進課主任 古谷洋介
会 議 次 第 (公開・非公開の別)	1 開 会 2 市長挨拶 3 委嘱状交付 4 委員自己紹介 5 事務局紹介 6 事務局説明 (1) 会議の非公開について (2) WEB会議システムによる委員の出席及び会議運営について 7 委員長及び副委員長選任 8 議 題 (1) 事業概要について (2) 今後のスケジュールについて 9 閉 会 10 庁舎見学 (非公開)
非 公 開 理 由	入間市情報公開条例第24条第3号「会議を公開することにより、当該会議の公正又は円滑な運営に著しい支障が生じる場合で、審議会等の決定により、その会議の全部又は一部を公開しないこととした場合」に該当するため
傍 聴 者 数	なし
配 布 資 料	第1回入間市新庁舎等整備事業民間事業者選定委員会 次第 資料1 入間市新庁舎等整備事業民間事業者選定委員会 委員名簿 資料2 入間市新庁舎等整備事業民間事業者選定委員会条例 資料3 入間市審議会等のWEB会議開催に関する要領 資料4 入間市新庁舎等整備事業 事業概要 資料5 入間市新庁舎等整備事業民間事業者選定委員会

	今後のスケジュールについて 資料6 実施計画概要版
事務局職員職氏名	総務部部长 浅見泰志 総務部次長 荻野勝弘 総務部公共施設マネジメント推進課課長 新屋朋徳 総務部副参事(公共施設マネジメント担当) 増田暁伸 総務部公共施設マネジメント推進課主査 磯田純文 総務部公共施設マネジメント推進課主任 浅川富士子 総務部公共施設マネジメント推進課主任 古谷洋介 総務部公共施設マネジメント推進課主事 北村款
会議録作成方法	要点筆記

会 議 録 (2)

議事の概要(経過)・決定事項

- 1 開 会 (午後0時30分)
- 2 市長挨拶
- 3 委嘱状交付
- 4 委員自己紹介
- 5 事務局紹介
- 6 事務局説明
 - (1) 会議の非公開について
 - (2) WEB会議システムによる委員の出席及び会議運営について
- 7 委員長及び副委員長選任
- 8 議 題
 - (1) 事業概要について
 - (2) 今後のスケジュールについて
- 9 閉 会 (午後2時40分)
- 10 庁舎見学 (午後3時20分)

会 議 録 (3)

発 言 者	発 言 内 容
議長	(1) 事業概要について 事務局からの説明について質問はあるか。
柳澤委員	市民協働棟をつくることになった経緯を説明してほしい。
事務局	市民要望と、C棟のエントランス機能を持たせること、敷地内の段差解消の機能を持たせる必要があることからだ。
柳澤委員	(市民協働棟を) 分棟とすることでコストがかかるのではないか。
事務局	事業者の提案によっては分棟以外もありえる。
議長	なぜ、庁舎整備でP F I手法を検討したのか。
事務局	当初は収益施設を予定しP F I手法を検討していたが、コロナ禍もあり、提案は難しいと判断した。そうした中で、維持管理を含めるD B O手法を採用とすることでさらに予防保全に繋がると考えた。
議長	維持管理をすべて外注にすると、庁内にノウハウが蓄積しなくなり、チェック機能が出来なくなる。また、大手ゼネコンに集中してしまい、入間市らしさよりも、合理性、便利さ、機能性の重視になるがいかがか。
事務局	財政的にも厳しい状況であるため、コンパクト、ロングライフ、ローコストを重視して検討を進めていきたい。
難波委員	新庁舎の構造に関しては指定しない方が良いのではないか。また、入札参

発 言 者	発 言 内 容
	<p>加資格登録については追加登録を認める方がよいと考える。3点目として、DXコストについては4～5年後を見据えて、技術革新を視野に入れ別途検討の余地を含める必要がある。</p>
事務局	<p>入札参加資格登録については、登録種別が違っていても良いと考える。DXコストについては、柔軟に対応していきたい。</p>
難波委員	<p>DXに関して、何らか見直せる条項を契約の中に盛り込んでおいた方が将来に対応できるだろう。</p>
議長	<p>難波委員の意見に賛成する。入札参加資格登録を条件にすると参加者がゼロになることを懸念している。</p>
事務局	<p>民間事業者へのサウンディングでは、参加事業者は1者以上あると見込んでいる。事業への参加資格については契約担当課とも協議したい。</p>
柳澤委員	<p>別件でも、入札参加資格登録のないアトリエ系の設計事務所が参加した事例がある。フレキシビリティも必要ではないか。</p>
議長	<p>参加資格は広げた方がいい。</p>
香取委員	<p>新庁舎は80年使い続けるとあるがこの80年はどこから来たのか。</p>
事務局	<p>本市の公共施設マネジメントの基準である。</p>
香取委員	<p>入間市らしさの表現のため、地域でとれた材料を使うと市民の愛着も沸くのではないだろうか。</p>

発 言 者	発 言 内 容
議長	桶川市の事例ではランドスケープを工夫し、表側は桶川宿のイメージを取り入れた。
柳澤委員	入間市らしさ、特徴を持たせていくというのは何らかの形でやっていったほうがよい。
柳澤委員	フリーアドレスの推進とあるが、床面積・文書の削減ができる。市はどこまで取組む予定か。
事務局	3階以上の執務スペースは、フリーアドレスを検討している。
議長	建設コストはまだ状況が厳しいので床面積の削減は、コスト圧縮の手段として後に残しておいた方がいい。
濱川委員	市では、これまで、紆余曲折の中で事業手法に議論が収斂していった経緯もあり、魅力づけの工夫の視点は不足していた。少しでも魅力的になるように検討していきたい。
柳澤委員	市民が集まる場所にするという方向性がある一方、市役所はセンター機能だけあればよいという考え方もある。そもそも論だが、どういう機能が必要なのか要求水準書（案）内で確認したほうがよいのではないかと。
難波委員	延床面積について、特にさらなる縮小について理由も含めて提案してもらおう前提で条件を緩く出来ないだろうか。
事務局	幅広に検討していく。

発 言 者	発 言 内 容
議長	市民の抛り所という意味で、いざというときに市民が集まる場として必要ということもある。
柳澤委員	市民が集まる場所と考えたとき、貸会議室があるだけでは市民は来ない。 有名なカフェがあるなど、市民が集まるような工夫が必要だろう。
議長	以上で議事は終了した。事務局に進行をお戻しする。
事務局	事務連絡：次回は、6月30日である。第3回、第4回は、11月を予定している。近くなったら改めて連絡する。 これで、第1回入間市新庁舎等整備事業民間事業者選定委員会を閉会する。
議事のでん末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。	
2022 年 6 月 27 日	
議 長 の 署 名	_____ <u>作山康</u> _____
議長が指名した者の署名	_____ _____